

3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社は、摩擦・潤滑・材料技術に関するエンジニアリング力を基礎として独自性のある製品を時流に先んじて創り出すことでお客様に貢献し、社会の繁栄に寄与することを基本理念としています。また、スピードある「開かれた経営」を行い、株主・顧客・社員の信頼と期待に応え、社会とともに成長発展をめざすことを念頭において経営しております。

(2) 目標とする経営指標

当社は、中長期の経営目標としては、自己資本当期利益率（ROE）を重要な経営指標として位置付け、資本の効率化に向けた施策を併せて行うことで、企業価値の向上に取り組んでまいります。具体的には、次の（3）中長期的な会社の経営戦略および対処すべき課題で述べております方策を着実に実施し、今後の目標達成をめざしております。

(3) 中長期的な会社の経営戦略および対処すべき課題

先進国の経済成長が滞るなか、自動車市場におきましては、引き続き先進国から新興国へのマーケットシフトが著しく、アジア（中国、アセアン、インド等）を中心に市場が拡大してきており、生産・販売のグローバル化への迅速な対応や差別化できるオンリーワン製品が必要だと認識しております。

このような厳しい経営環境のなかで、当社グループは、「VISION 2015」で掲げた、①「自動車用すべり軸受分野で、世界No. 1の実現。」、②「非軸受分野で、トップブランドの確立。環境・エネルギー・安全等の課題解決に寄与する新商品の開発・提供。」、③「工機分野で、大豊グループの総合力を生かした、型・設備・製造システム商品の確立。」を実現するために、次の中期経営計画を策定し、取り組んでまいります。

■中期経営方針

「基本に忠実な企業体質づくりと未来への飛躍」

■経営スローガン

「基本にかえり、未来を創造」

■中期目標

1. 環境、安全、コンプライアンスが浸透した、地球と社会にやさしい企業グループ
2. 技術・品質、No. 1のトップブランド商品を提供する企業グループ
3. 経営資源の最適配分により、世界に広がる企業グループ
4. 未来を担う人材を育成し、成長を続ける企業グループ

今後、「VISION 2015」の実現に向けて、更なるグループの経営基盤強化を図り、施策を確実に成果に結びつけていく中で、株主、顧客、社員、地域社会等、全てのステークホルダーの皆様信頼され、満足いただける強固かつ高収益な体質づくりに向け、グループ一丸となり、努力してまいります。特に2012年度は、「VISION 2015」達成に向け、成長基盤確立のために2010年度にスタートした中期経営計画の集大成の年度として以下の3つの軸を念頭に置きながら、グローバル化を中心にこれまで以上にスピードを上げて課題に取り組んでまいります。

1. 確固たるエンジニアリングに立脚した製造業を目指し、システム商品を拡大する。
2. 生産・製造技術を革新する。
3. 全社管理システムを革新する。